

## 体験型海外教育実地研究 -第8学年体育 SAMURAI Mind-

教育学研究科生涯活動教育学専攻健康スポーツ教育学専修 竹内 俊介

### 1 はじめに

「体験型海外実地研究」の具体的な取組の内容について知り、感銘を受けた。このプログラムで海外の教育にふれることにより、今まで当たり前を受けてきた日本の教育を外から見る事ができるよい機会であると考え参加した。

### 2 実地研究の日程と概要

		交通等	訪問地・用務等	泊	
5/7	木	14:40-16:00 C505	渡航までの日程や諸準備の確認	授業研究テーマの設定方法	
6/4	木	14:40-16:00 C505	授業研究テーマ案の交流		
6/30	火	米国グループ(米国よりタッカーさんほか計15名)来学・高美が丘中学校訪問			
7/1	水	14:30-15:40 同上	三ツ城小学校訪問・午後は日米教育事情懇談会		
7/9	木	14:40-16:00 C505	学習指導案の検討		
7/18	土	L104 第5回学校間交流国際フォーラム(レッドフォードさん・クーパーさん)			
7/19	日	C527 2009 体験型海外教育実地研究報告書作成のワークショップ			
7/30	木	14:40-16:00 C526	学習指導案の検討 渡航のための諸手続き		
8/27	木	14:40-16:00 C505	学習指導案の検討, 教材・教具の作成, 渡航のための諸手続き		
9/3	木	14:40-16:00 C505	学習指導案の検討, 教材・教具の作成 渡航準備		
9/9	木	14:40-16:00 C505	直前打合せ		
9/12	土	Hiroshima 0745-0925 Narita (NH-3128) Osaka Itami 0800-0910 Narita (NH-2176) Narita 1105-1040 Washington Dulles (NH-2) Washington Dulles 1235-1340 Raleigh (UA-7144) RDU Airport →City Hotel & Bistro		City Hotel & Bistro 203 W. Greenville Blvd, Greenville, NC 27834 TEL(877)271-2616 Greenville	
9/13	日	Home Party and Meeting at Dr. Carolyn Ledford's	Preparation of Lessons Meeting	Greenville	
9/14	月	City Hotel → Each School	School Visit Elmhurst E.S.(K-5) (Ms. Suzanne Hachmeister) Wahl- Coates E.S.(K-5) (Ms. Cynthia Watson) C. M. Eppes J.H.S. (6-8)	Greenville	

			(Mr. Thomas Cooper) Observation / Teaching Meeting and Preparation	
9/15	火	City Hotel → Each School	School Visit Observation / Teaching Resource Center in ECU	Greenville
9/16	水	City Hotel → Each School	School Visit Observation / Teaching	Greenville
9/17	木	City Hotel → Raleigh	(School Visit) * Meeting with Mr. Kevin * Exploris M.S. (6-8) * Museum Visit	<u>Holiday Inn RALEIGH</u> (CRABTREE VALLEY MALL) 4100 GLENWOOD AVE RALEIGH, NC 27612 Front Desk: 1-919-7828600 Fax: 1-919-7827213 Raleigh
9/18	金	Sheraton → RDU Raleigh 1025-1130 Washington Dulles (UA-197)	Traveling to Washington DC Study on the American Culture	<u>WASHINGTON</u> <u>PLAZA</u> 10 Thomas Circle, N.W. Washington, DC 20005 202.842.1300 / 800.424.1140 Fax: 202.371.9602 Washington DC
9/19	土		Study on the American Culture at Historical Place	Washington DC
9/20 9/21	日 月	Hotel → Airport Washington Dulles 1220-1525 Narita (NH-1) Narita 1645-1755 Osaka Itami (NH-2177) Narita 1725-1900 Hiroshima (NH-3129) Haneda 1930-2100 Hiroshima (NH-687)		
11/12	木	事後指導 発表会		

### 3 実地研究授業

#### 3.1 単元等名

第8学年体育 SAMURAI Mind

#### 3.2 事前準備

本授業のねらいは、日本の伝統的なスポーツである剣道を体験させることによってアメリカの子ども達に他国の伝統や文化を受け入れることの大切さに気付かせることである。

また、本授業では剣道で使用する剣を子ども達自身が新聞紙で作るので、子ども達に自分達自身で作ったものを使用する喜びにも気付いてもらいたい。

#### 3.3 学習指導案

Lesson Title: 「SAMURAI Mind」

Lesson Author: Shunsuke Takeuchi

Date: September 2009

Grade Levels: 8

Subject: sword-play

Description: Recently, people were required to communicate with many kinds of people by the globalization. Without attitude to accept other cultures and thoughts, it is difficult to understand each other. Through this lesson, I want to teach the importance of the attitude to accept different cultures and thoughts to children. In addition, I want children to notice that enjoyment to make objects by themselves. Now, we can buy anything that we want but I think it is important to get something we want by making them by ourselves. I think the attitude to treasure objects will be encouraged by making objects by ourselves. Through this lesson, I want students to notice the importance of attitudes to understand other cultures and treasure objects.

Goal: This lesson will develop students' attitude to accept other thoughts and treasure objects. Through this lesson, students will notice the importance of understanding other cultures and attitude to treasure objects.

Objectives: As a result of this lesson, the student will be able to:

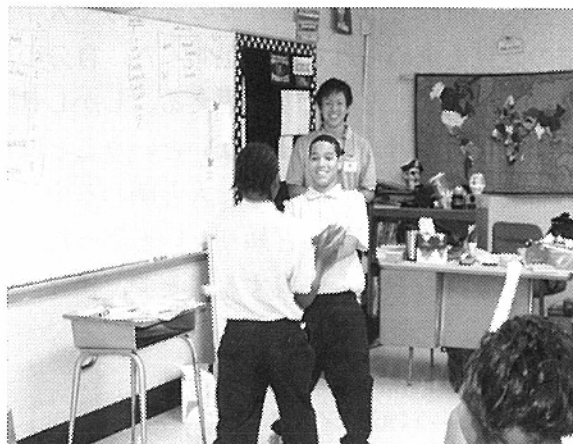
1. Know the other culture and have the attitude to respect it.
2. Develop the attitude to treasure objects.

Materials, resources and Technology: newspaper, Scotch tape, Cotton ball



### 3.5 考察

今回授業を行った C.M.EPPES の 8 年生には、剣道を知っている生徒がほとんどいなかった。そのため、映像やジェスチャーを用いて説明を行った。すると子ども達から非常によい反応が返ってきた。最後の剣道のゲームの時には、最高潮の盛り上がりが見えた。しかし、盛り上がり過ぎて叩き合いになる子どもも現れたので、危険回避の面からもこれを十分に抑えることを十分に行っていかなければならない。また、剣の強度が弱く、鞭のようになってしまう場面も見られた。叩いてもあまり痛くなく、丈夫な剣をさらに探求して作る必要がある。

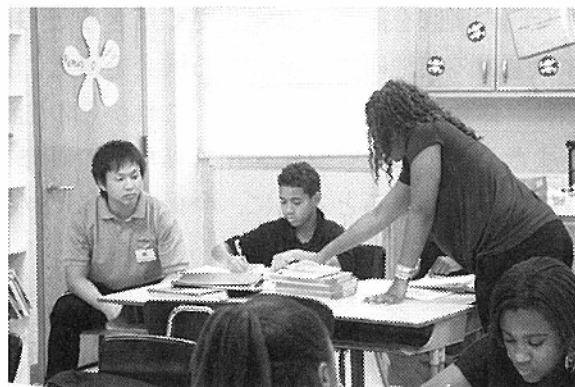
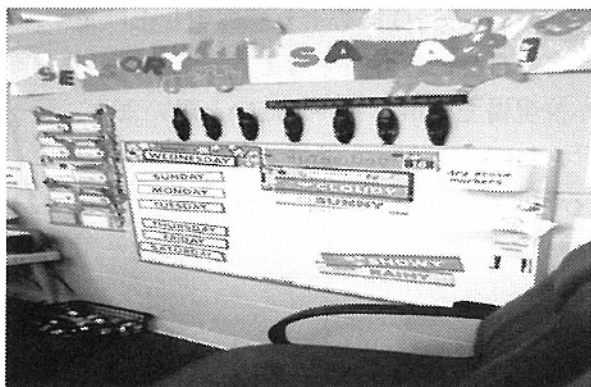


授業実践の様子

## 4 体験型教育実地研究における自己変容

### 4.1 教育観の変容

自分自身が今まで受けていた授業のイメージは、教師が一方向的に教えるものであり、それが当たり前のように感じていた。しかし、今回の学校訪問でそのイメージが変わった。訪問先では、教室を用途に合わせて、多様な方向で使っていた。日本の教育だけでなく、海外の教育も視野に入れ、学んでいきたいと感じた。

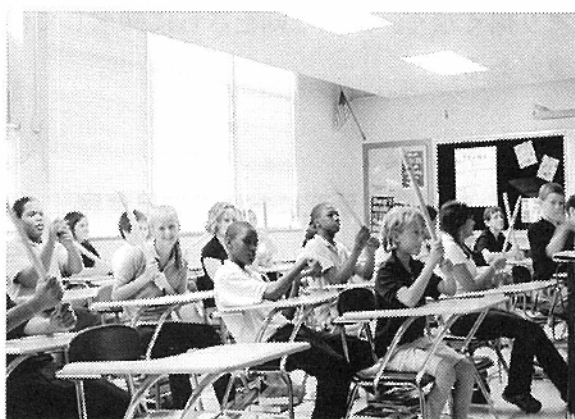


#### 4.2 自分自身についての変容

今回の研修では、アメリカの先生方や大学生と交流また自分の授業に関する事などで私自信の意見を求められる場面があった。自分の思ったことを述べればよいと言われるとなんだかとても簡単なことのように思える。しかし日頃から興味・関心をもって物事を見ていないとなかなか自分の考えを持ってないということに気が付き、さらにはそれを表現することの難しさも痛感した。しかし、様々な人と関わる中で、自分のことをもっと知ってもらいたいと思ったり、相手のことをもっと知りたいと思ったりするようになった。そしてそのためにはやはり自分の考を持ちそれを表現することで、相互の関係をよいものにしていくことが大切であると感じた。

#### 4.3 グローバルマインドに関する変容

これまで、「異文化理解」に対して英語が話せないからできないという印象が強く、敬遠していた自分がいた。しかし、今回アメリカを訪問し、現地の子供達や先生方と話せないなりに懸命にジェスチャーなどを使って伝えようとすることでお互いを理解できるということを肌で実感することができた。しかし、同時に上手く話せない自分にもどかしさを感じ、言語力の向上を心に決めた。異文化理解の大きな動機づけとなり得るこのような経験を将来の子供達に体験させたり、話したりしていきたい。



### 5 おわりに

今回の研修を計画・実施して下さった GPSC の関係者の皆様に心より感謝申し上げます。体験型海外実地研究に参加する機会を得たことで、自分自身の教育観や考え方の幅が広がりました。体験から学んだことを、これからの生活や学校現場で生かしていきたいと思えます。

また、ノースカロライナ州で私たちの研修を受け入れて下さった関係者の方々にも、心より感謝申し上げますとともに、今後の GPSC の更なる発展を心よりお祈りいたします。

#### 引用・参考文献

なし